

# ブックトーク 「へえー！なるほど！をどうぞ 体の仕組み」

小平市立小平第一小学校

石橋 幸子

1. 対象 4年 国語 25分

2. ねらい

国語で学習した説明文の発展学習として科学読み物を読ませたい。そこでクイズを入れて本を紹介する。今回は特に「体の仕組み」に焦点を合わせた。魚、動物、人間の不思議な体の仕組みに興味をもたせたい。紹介した本以外の科学読み物も手に取ってもらい、それをPOPにして友達へも紹介させる。そのことで科学読み物の世界を広げさせたい。

3. 展開

紹介する本	
<p>①「からだ ころろ げんき かぐかぐ」 カムカムズ 文 ささめやゆき 絵 PHP 研究所</p> <p>②「動物ふしぎ発見 ゾウの長い鼻には、おどろきのわけがある！」 山本省三 文 喜多村武 絵 監修 遠藤秀紀 くもん出版</p> <p>③「じっけん きみの探知器」 山下恵子文 杉田比呂美絵 福音館書店</p>	<p>今日は科学の本でへえー！なるほど！そうだったんだ！というおもしろい話を紹介します。今回はすべて体の仕組みに関するものです。</p> <p>目をつぶってください。(オーデトワレの香り)どうですか？くんくんしたかな。</p> <p>最初の本はこれ。鼻の役割です。(最初のページ、くさい臭いは危険を知らせることを書いたページを紹介)(あとがきを部分読み) 「危険をかぎわけるのは生命の優れた仕組み」を紹介する。</p> <p><b>クイズ1</b>人は鼻で匂いを嗅ぎます。ではへびは？ 答え 舌(絵を見せる)</p> <p>鼻と言えばゾウ。ただしこれは上唇なんですって。(遠藤秀紀さんの言葉を読む。遠藤さんの新聞記事を紹介する)</p> <p><b>クイズ2</b>ゾウの鼻の働きは？ 答え 息をする においを嗅ぐ 手のかわりに物を持つ ポンプの働き</p> <p><b>クイズ3</b>ゾウの腎臓は8つに分かれているのはなぜ？ 答え 海で暮らしていたから。 その根拠となる説明部分を読み聞かせる。</p> <p>人間の鼻はなぜにおいが分かるのでしょうか。P.24「においの探知器のしくみ」を読む</p> <p>では味はどこで分かるかな。P.18、19 味はどこで分かるかの不</p>

<p>④「ゆりかごは口の中 子育てをする魚たち」 桜井淳史 著 ポプラ社</p> <p>⑤「ハリセンボンがふくらんだ」 鈴木克美 作 石井聖岳 絵 あかね書房</p> <p>⑥「フリズル先生のマジック・ スクールバス からだたんけん」 ジョアンナ・コール文 ブルース・ディーギン絵 藤田千枝訳 岩波書店</p> <p>⑦「おへそのひみつ」 やぎゅうげんいちろう さく 福音館書店</p> <p>⑧「かものきょうだい クリとゴマ」 なかがわちひろ作・絵 アリス館</p>	<p>思議実験を紹介。</p> <p><b>クイズ4</b>口の使い方は？ 答え 喋る 食べる 子どもを育てる</p> <p>桜井さんの経歴や魚を飼ういきさつを紹介 魚の子育てが見たいという強い思い P.5 (絵)21(写真)を見せながら説明する口の中で育てる魚は本当に子どもを食べたりしないのか。(P.27nの絵を見せる)</p> <p>ハリセンボンについてP.6・7を読む。 <b>クイズ5</b>どうやってあつという間にふくらむのでしょうか。 答え(P.9の絵をみせて) 海水を胃袋に入れたり出したりするんだね。他にもたくさんの謎があるそうです。(P.14・15)</p> <p>ハリセンボンの体仕組みには驚いたけれど、その体の中に入ってしまうのがこの先生。(最初の絵を見せて先生とバスの説明) バスが縮んでアーノルドの体の中へ入ってしまいました。すごい遠足でしょ？</p> <p>では人の体クイズが続きます。 <b>クイズ6</b> 赤ちゃんにもおじいさんにも先生にもあるけれど、今は全く役にたたないものは？ 答え おへそ (P.20を見せて説明。)</p> <p>おへそなしで生まれるのが卵から生まれる動物だね。(本を紹介。卵が中川家に來たいきさつを話す)</p> <p><b>クイズ7</b>ヒナは卵の中からどうやってでてくるのでしょうか？ 答え 卵嘴(らんし)でからにヒビを入れる。数日後には落ちてしまう。(P.22)</p> <p>写真を見せながら紹介(P.60 P.64)野生動物や環境問題についても考えさせられる本です。そして何よりもクリとゴマの写真が可愛いのです。絵もとても楽しいですよ。</p> <p>体の仕組みの不思議はまだまだありそうですね。ぜひ何冊も読んでみてね。</p>
--	---